

2021年2月期

# 決算説明資料

---

2021年4月23日



**株式会社竹内製作所**

(証券コード:6432)

- ▶ 2021年2月期・連結業績 実績
- ▶ 2022年2月期・連結業績 予想
- ▶ 第二次中期経営計画の進捗状況
- ▶ ご参考資料

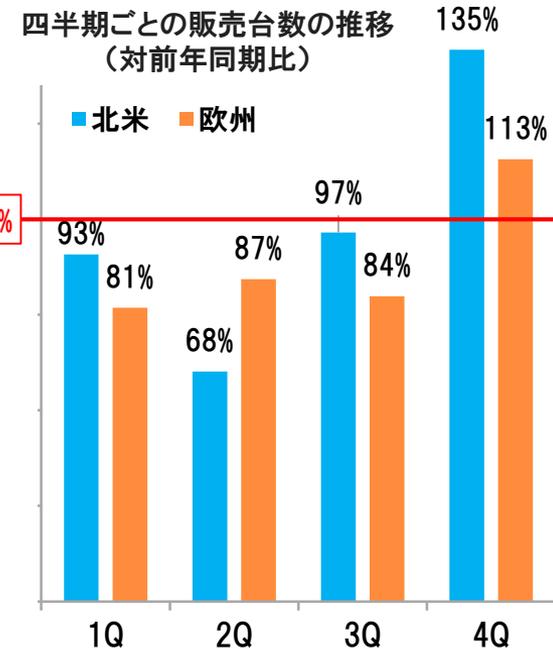
## (1) 上期にコロナの影響を受けたものの、下期においては需要が回復

当社製品は、社会インフラを支える事業(エッセンシャル事業)に必要不可欠

### 【販売台数(対前年同期比)】

- 北米 5.5%減少 (上期:21.3%減少、下期:11.9%増加)
- 欧州 9.3%減少 (上期:15.5%減少、下期:1.9%減少)
- トータル 5.2%減少 (上期:16.1%減少、下期:7.3%増加)

- 上期の販売台数は、欧米ともにコロナの影響で大幅減。(期初想定ほどには落ち込まず)
- 下期の販売台数は、コロナ禍前の水準へと回復。4Qは欧米ともに前年同期を上回った。
- 特に北米は、郊外での住宅需要が高まり、住宅市場が活況。(予想を上回る販売状況)



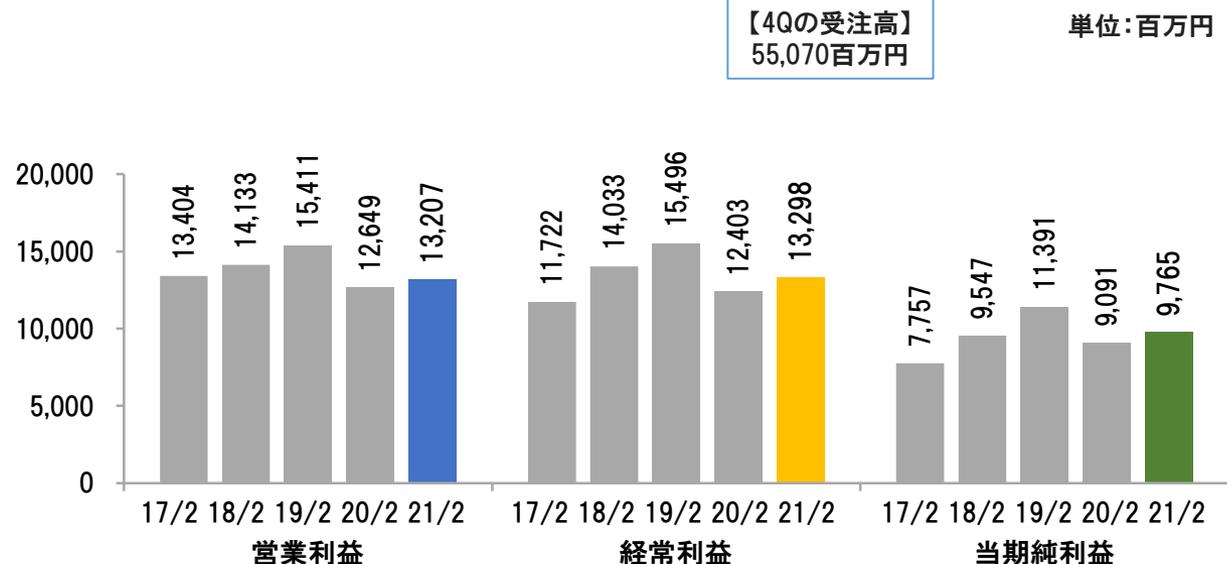
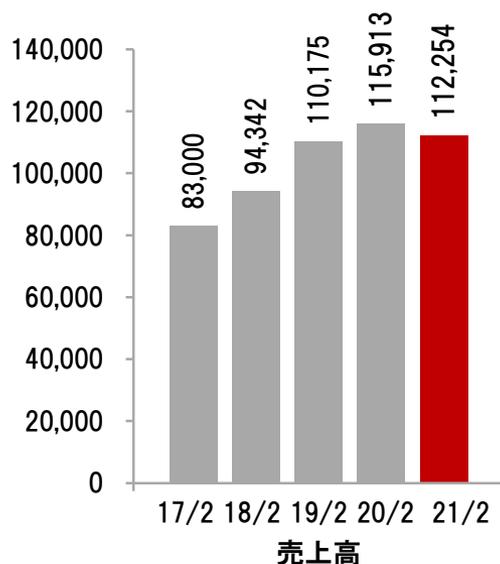
## (2) 売上高は3.2%減少したが、営業利益は4.4%増加 (連結、対前期比)

### 【主な増益要因】

- 欧米での値上げ
- 出荷台数の減少に伴う運搬費(販売費及び一般管理費)の減少

# 連結業績ハイライト (2021年2月期・実績)

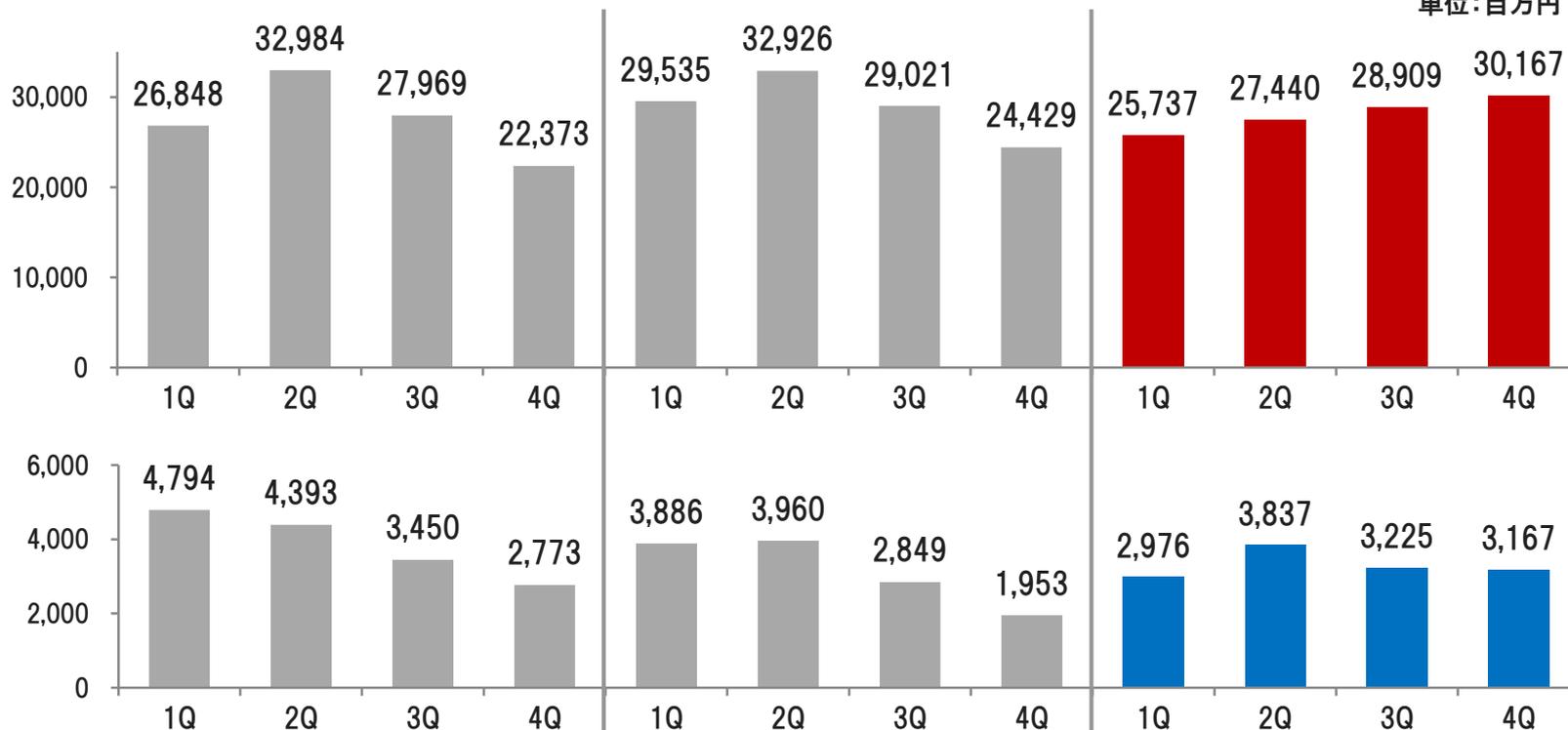
単位:百万円	2020年2月期		2021年2月期					
	通期	売上比率	上期	下期	通期	売上比率	増減額	増減率
■ 売上高	115,913	—	53,177	59,077	112,254	—	△3,658	△3.2%
■ 営業利益	12,649	10.9%	6,814	6,393	13,207	11.8%	+558	+4.4%
■ 経常利益	12,403	10.7%	6,758	6,540	13,298	11.8%	+895	+7.2%
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	9,091	7.8%	4,916	4,849	9,765	8.7%	+673	+7.4%
設備投資額	3,056	2.6%	833	901	1,734	1.5%	△1,322	△43.3%
減価償却費	1,529	1.3%	757	919	1,676	1.5%	+146	+9.6%
受注高	117,156	—	41,841	83,759	125,600	—	+8,444	+7.2%
受注残高	31,533	—	20,197	44,879	44,879	—	+13,345	+42.3%



# 四半期毎の売上高・営業利益

単位:百万円

売上高

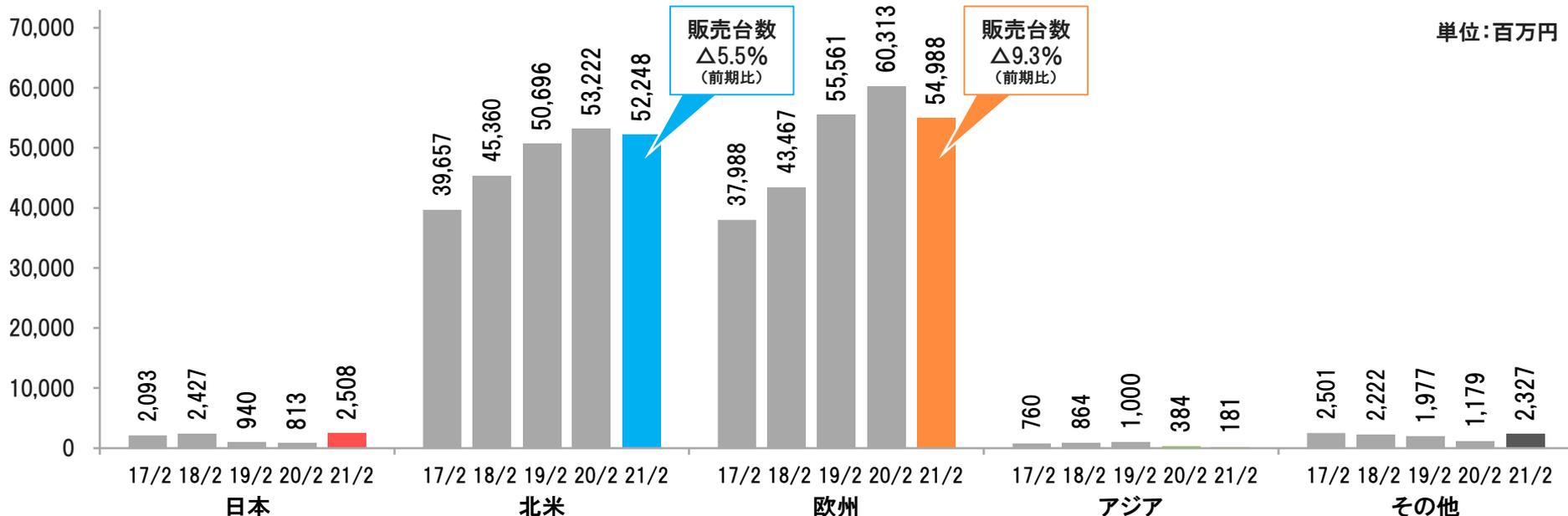


営業利益

	2019年2月期				2020年2月期				2021年2月期			
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円/米ドル	107.57	109.91	112.68	111.38	111.19	108.58	107.80	109.36	108.44	106.90	105.19	104.01
円/英ポンド	149.90	144.87	145.77	143.48	145.48	135.73	133.02	142.52	135.64	133.65	136.89	140.48
円/ユーロ	131.30	128.07	130.50	127.71	124.85	122.04	118.80	121.14	120.10	120.70	123.89	125.77
円/人民元	17.03	16.97	16.29	16.25	16.43	16.00	15.26	15.57	15.50	15.10	15.28	15.76

# 地域別売上高 (2021年2月期・実績)

単位:百万円	2020年2月期		2021年2月期					
	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	増減額	増減率
■ 日本	813	0.7%	1,049	1,459	2,508	2.2%	+1,695	+208.5%
■ 北米	53,222	45.9%	23,764	28,484	52,248	46.5%	△973	△1.8%
■ 欧州	60,313	52.0%	27,502	27,486	54,988	49.0%	△5,325	△8.8%
■ アジア	384	0.3%	52	129	181	0.2%	△202	△52.7%
■ その他	1,179	1.0%	808	1,519	2,327	2.1%	+1,147	+97.3%
売上高合計	115,913	100.0%	53,177	59,077	112,254	100.0%	△3,658	△3.2%
海外売上高	115,100	99.3%	52,128	57,617	109,745	97.8%	△5,354	△4.7%

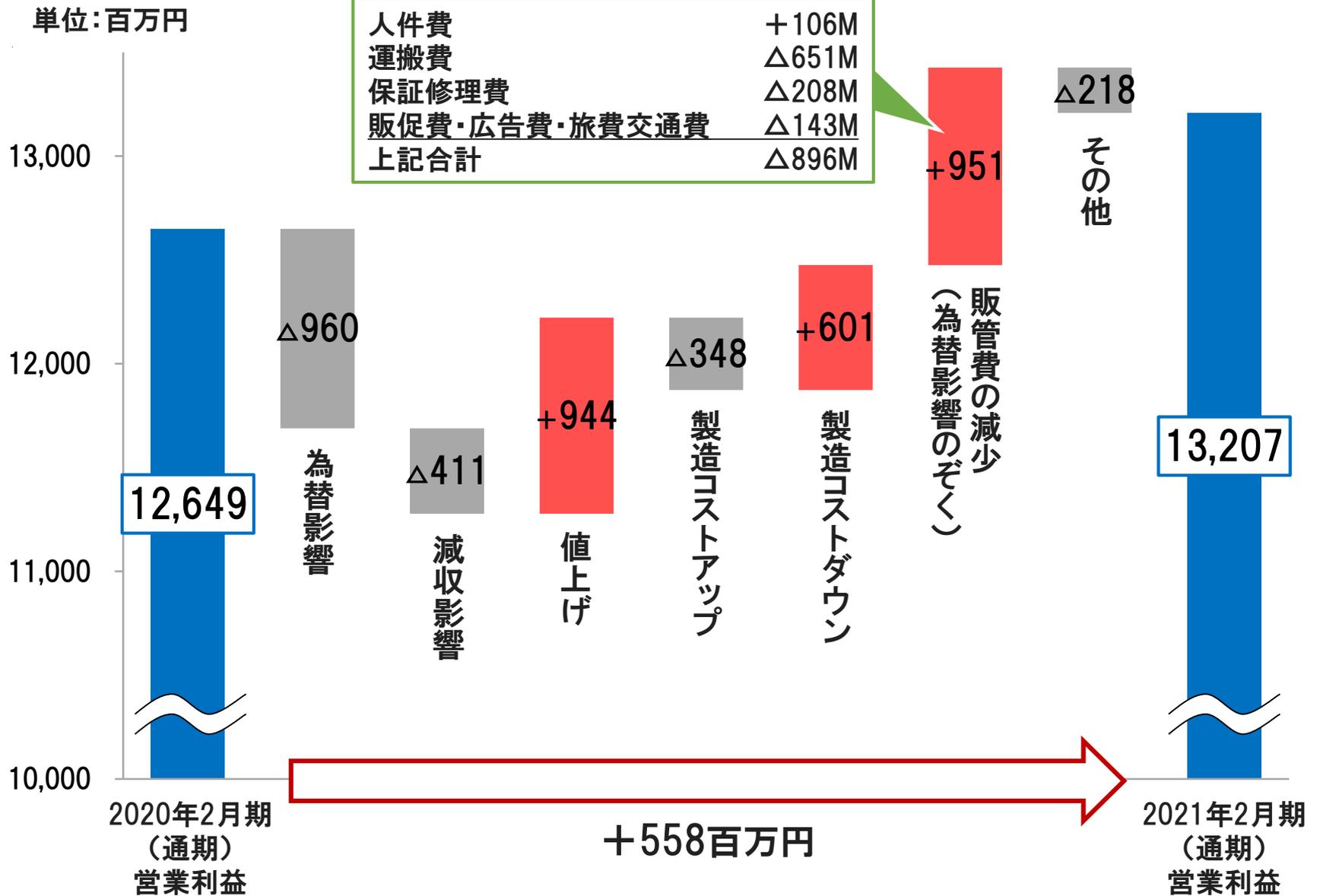


# 所在地別セグメント情報 (2021年2月期・実績)

単位:百万円	2020年2月期		2021年2月期					
	通期	利益率	上期	下期	通期	利益率	増減額	増減率
日本売上高	45,741	—	22,021	22,508	44,529	—	△1,211	△2.6%
セグメント利益	9,863	21.6%	3,740	4,189	7,929	17.8%	△1,934	△19.6%
米国売上高	53,223	—	23,765	28,487	52,252	—	△970	△1.8%
セグメント利益	3,569	6.7%	2,104	2,422	4,526	8.7%	+957	+26.8%
英国売上高	10,174	—	4,270	4,237	8,507	—	△1,667	△16.4%
セグメント利益	551	5.4%	336	321	657	7.7%	+105	+19.2%
フランス売上高	6,547	—	3,096	3,818	6,914	—	+367	+5.6%
セグメント利益	326	5.0%	195	245	440	6.4%	+113	+34.8%
中国売上高	226	—	24	26	50	—	△176	△77.8%
セグメント利益	46	20.6%	△153	△57	△210	—	△256	—

- 日本セグメント (竹内製作所)
  - ・ 建設機械の開発、製造
  - ・ 日本国内での建設機械の販売 / 欧州及びアジア・オセアニア地域のディストリビューターへの建設機械の販売
- 米国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD.)
  - ・ 米国及びカナダでの建設機械の販売
- 英国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.)
  - ・ 英国での建設機械の販売
- フランスセグメント (TAKEUCHI FRANCE S.A.S.)
  - ・ フランスでの建設機械の販売
- 中国セグメント (竹内工程機械(青島)有限公司)
  - ・ 中国での建設機械の販売
  - ・ 中国及びアジア向けの建設機械の製造
  - ・ 日本セグメント向けの建設機械の製缶品(部材)の製造、調達及び販売

# 営業利益増減要因 (2021年2月期・実績)

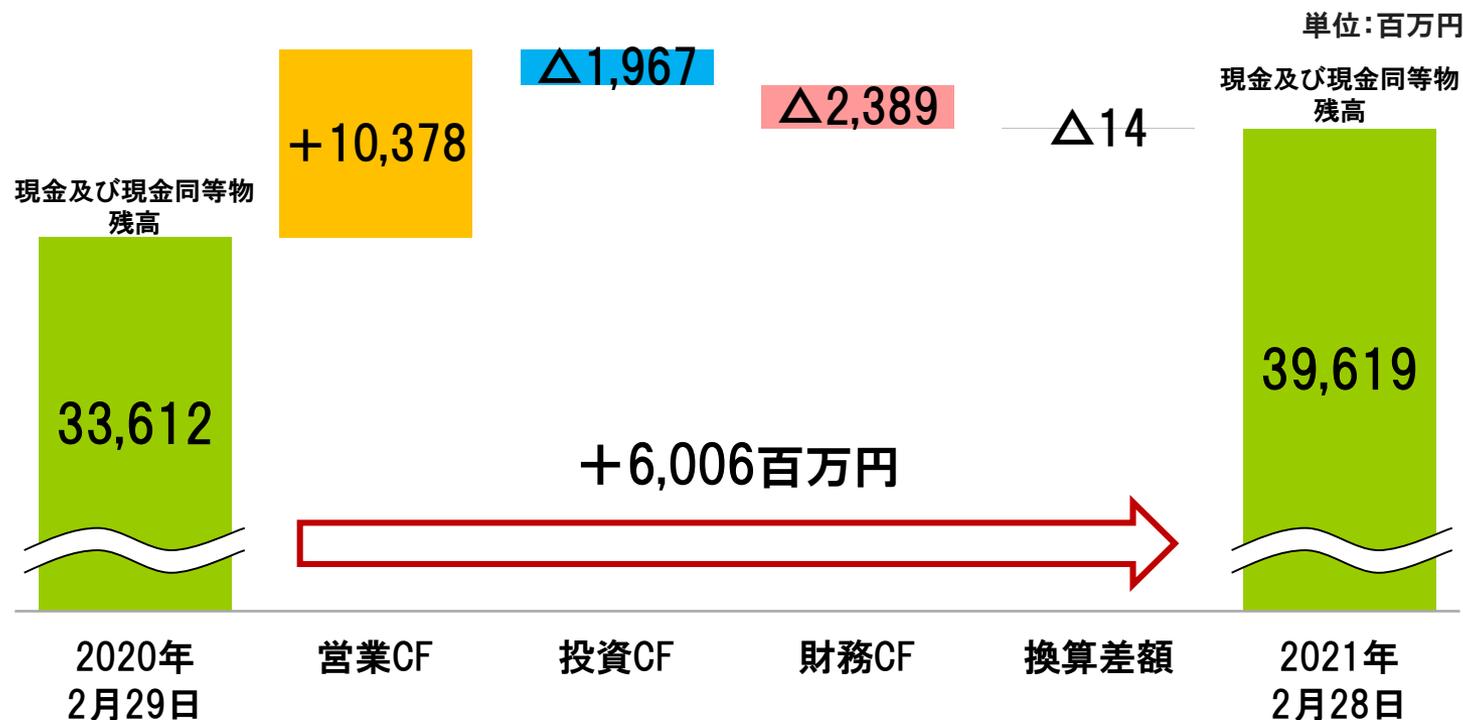


# 連結貸借対照表 (2021年2月28日現在)

単位:百万円

		2020年2月29日		2021年2月28日			
		残高	構成比	残高	構成比	増減額	増減率
資産 の部	現金及び預金	34,220	31.4%	40,227	34.8%	+6,006	+17.6%
	受取手形及び売掛金	25,365	23.3%	27,172	23.5%	+1,807	+7.1%
	たな卸資産	30,543	28.0%	29,326	25.4%	△1,216	△4.0%
	その他流動資産	2,253	2.1%	2,457	2.1%	+203	+9.0%
	流動資産	92,383	84.8%	99,184	85.9%	+6,801	+7.4%
	固定資産	16,599	15.2%	16,340	14.1%	△258	△1.6%
合計		108,982	100.0%	115,525	100.0%	+6,543	+6.0%
負債・ 純資産 の部	支払手形及び買掛金	19,848	18.2%	19,471	16.9%	△376	△1.9%
	その他流動負債	4,990	4.6%	5,670	4.9%	+680	+13.6%
	流動負債	24,838	22.8%	25,142	21.8%	+303	+1.2%
	固定負債	459	0.4%	474	0.4%	+15	+3.3%
	負債合計	25,298	23.2%	25,617	22.2%	+318	+1.3%
	純資産合計	83,683	76.8%	89,908	77.8%	+6,224	+7.4%
合計		108,982	100.0%	115,525	100.0%	+6,543	+6.0%

# 連結キャッシュ・フロー計算書 (2021年2月期・実績) **TAKEUCHI** From World First to World Leader



単位:百万円

営業キャッシュ・フロー		投資キャッシュ・フロー		財務キャッシュ・フロー	
	増減額		増減額		増減額
税金等調整前当期純利益	13,298	有形固定資産の取得	△1,800	配当金の支払	△2,387
減価償却費	1,676	無形固定資産の取得	△245		
たな卸資産の減少	221				
運転資金の増加	△1,971				
法人税等の支払	△3,348				
その他	502	その他	78	その他	△2
合計	+10,378	合計	△1,967	合計	△2,389

- ▶ 2021年2月期・連結業績 実績
- ▶ **2022年2月期・連結業績 予想**
- ▶ 第二次中期経営計画の進捗状況
- ▶ ご参考資料

## (1) 販売台数の見通し … 好調な販売状況は2022年2月期も続くと思込む

- 北米 **7.6%増加**の予想 (上期:47.0%増加、下期:22.8%減少、対前年同期比)
- 欧州 **7.9%増加**の予想 (上期:15.6%増加、下期:0.1%減少、対前年同期比)
- トータル **8.2%増加**の予想 (上期:28.3%増加、下期:10.1%減少、対前年同期比)

### 【定性的な背景】

- (欧米に共通) 生活インフラ(水道管やガス管、道路整備など)の土木工事での需要回復
- (特に北米) 郊外での住宅需要の高まりと相まって、住宅市場が活況

### 【定量的な根拠】

- 前第4四半期(3ヶ月間)の受注高 = 550億円 (3ヶ月間の受注高として過去最高)
- 前第4四半期末の受注残高 = 448億円 (過去最高)

## (2) 利益見通し … 以下を主因として、**減益** を予想

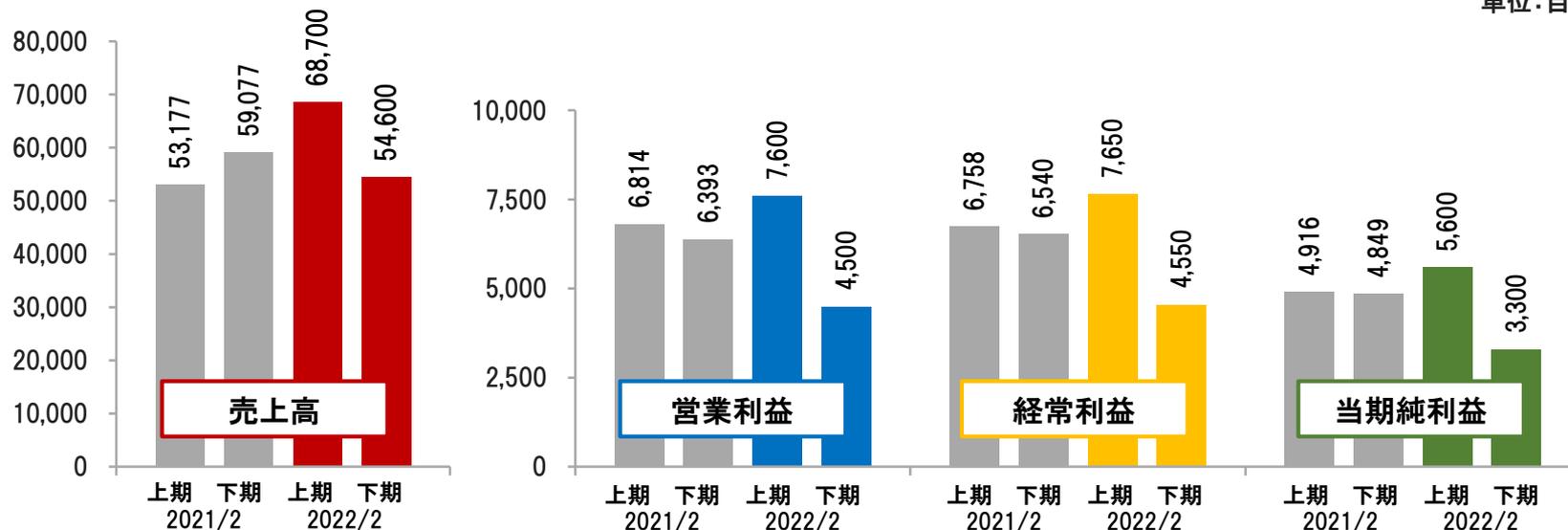
- 鋼材を主とした原材料コストの上昇
- 欧米向けの出荷台数の増加、海上運賃の急騰に伴う運搬費の大幅増
- 半導体不足による一部機種生産・販売の減少

- 売上増
- 欧米での値上げ
- 為替影響(円安前提)による増益も見込むが…

# 連結業績予想ハイライト (2022年2月期・予想)

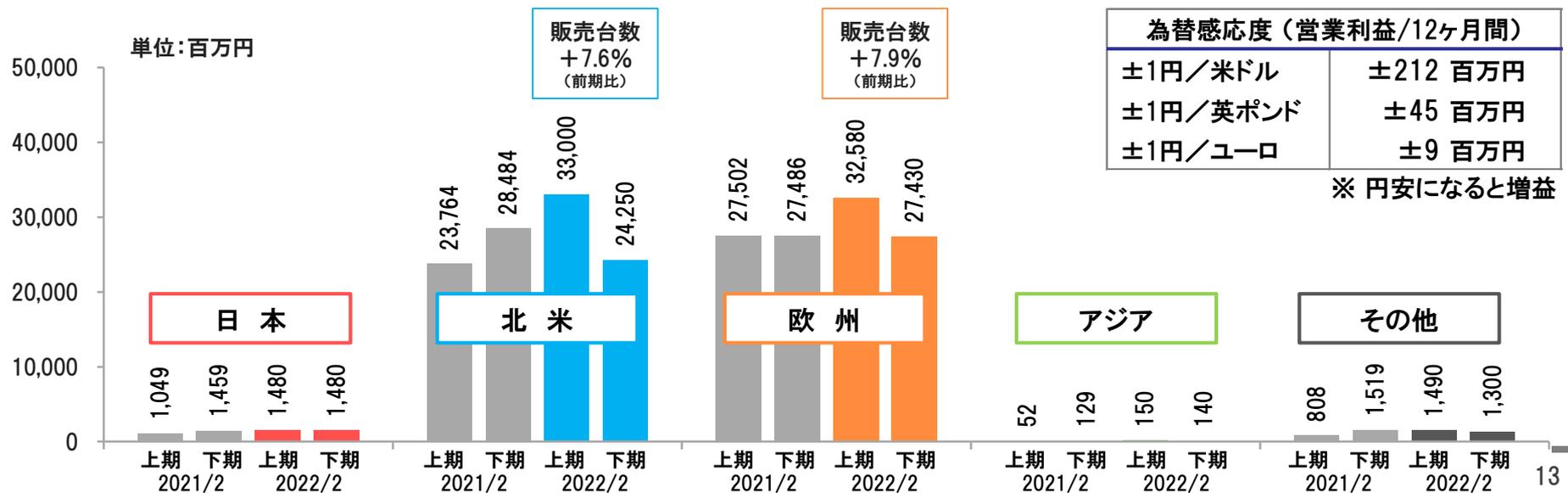
単位:百万円	2021年2月期		2022年2月期(予想)					
	通期	売上比率	上期	下期	通期	売上比率	増減額	増減率
■ 売上高	112,254	—	68,700	54,600	123,300	—	+11,045	+9.8%
■ 営業利益	13,207	11.8%	7,600	4,500	12,100	9.8%	△1,107	△8.4%
■ 経常利益	13,298	11.8%	7,650	4,550	12,200	9.9%	△1,098	△8.3%
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	9,765	8.7%	5,600	3,300	8,900	7.2%	△865	△8.9%
設備投資額	1,734	1.5%	517	1,572	2,090	1.7%	+356	+20.6%
減価償却費	1,676	1.5%	737	968	1,705	1.4%	+28	+1.7%
1株純利益	204.78	配当性向	117.43	—	186.64	配当性向	△18.14	△8.9%
1株配当金	53.00	25.9%	—	—	53.00	28.4%	—	—

単位:百万円



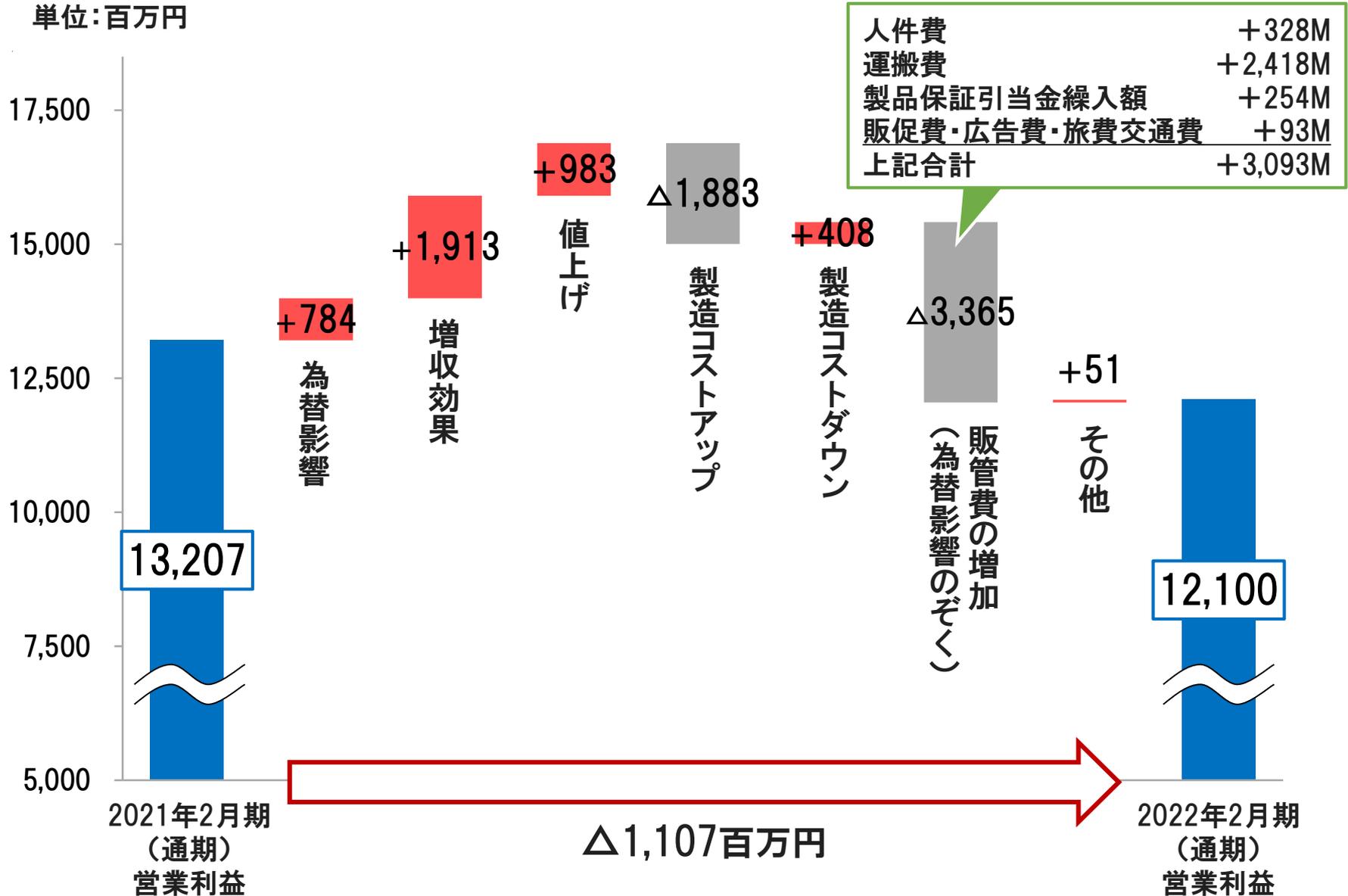
# 地域別売上高予想 (2022年2月期・予想)

単位:百万円	2021年2月期		2022年2月期(予想)					
	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	増減額	増減率
日本	2,508	2.2%	1,480	1,480	2,960	2.4%	+451	+18.0%
北米	52,248	46.5%	33,000	24,250	57,250	46.4%	+5,001	+9.6%
欧州	54,988	49.0%	32,580	27,430	60,010	48.7%	+5,021	+9.1%
アジア	181	0.2%	150	140	290	0.2%	+108	+59.5%
その他	2,327	2.1%	1,490	1,300	2,790	2.3%	+462	+19.9%
売上高合計	112,254	100.0%	68,700	54,600	123,300	100.0%	+11,045	+9.8%
円/米ドル	106.13	—	107.00	107.00	107.00	—	+0.87円	—
円/英ポンド	137.88	—	148.00	148.00	148.00	—	+10.12円	—
円/ユーロ	122.91	—	127.00	127.00	127.00	—	+4.09円	—
円/人民元	15.41	—	16.40	16.40	16.40	—	+0.99円	—



# 営業利益増減要因 (2022年2月期・予想)

単位:百万円



# 設備投資計画

本社・第3工場 竣工 (約30億円)



びんぐし試験棟 建設 (約9億円)



TAKEUCHI US 倉庫増築 (約5.4億円)



本社・第1工場 増設 (約3億円)

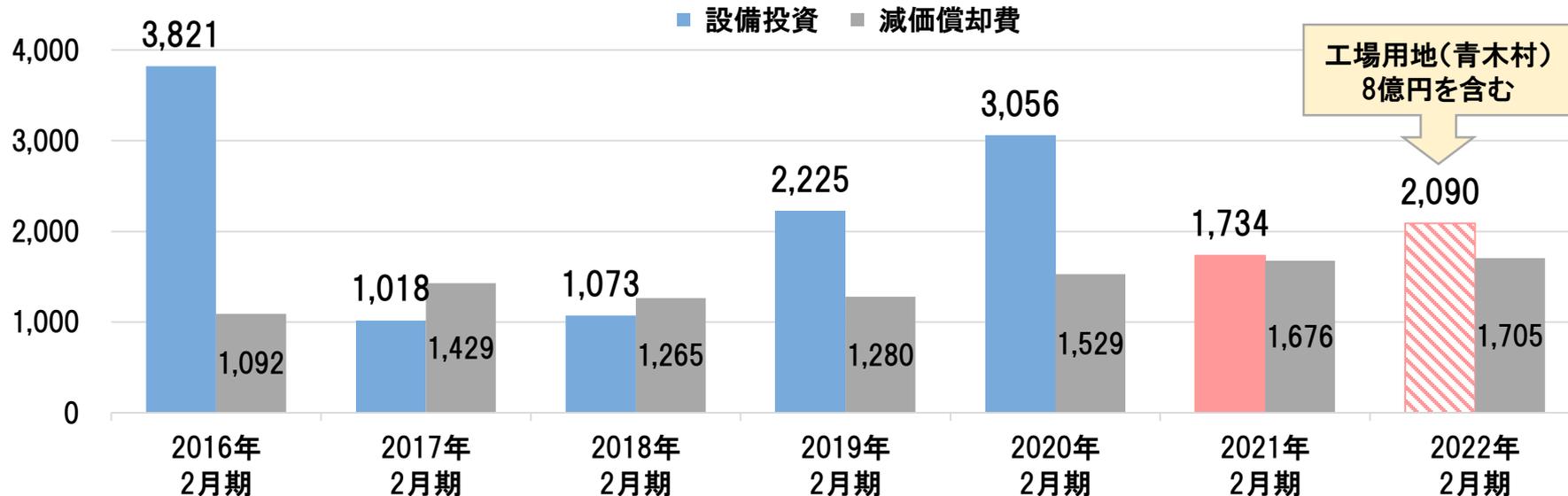


中国・青島工場 増設 (約13億円)



TAKEUCHI US トレーニングセンター (約5.3億円)

単位:百万円



- ▶ 2021年2月期・連結業績 実績
- ▶ 2022年2月期・連結業績 予想
- ▶ **第二次中期経営計画の進捗状況**
- ▶ ご参考資料

# 第二次中期経営計画の骨子

## (1) 数値目標

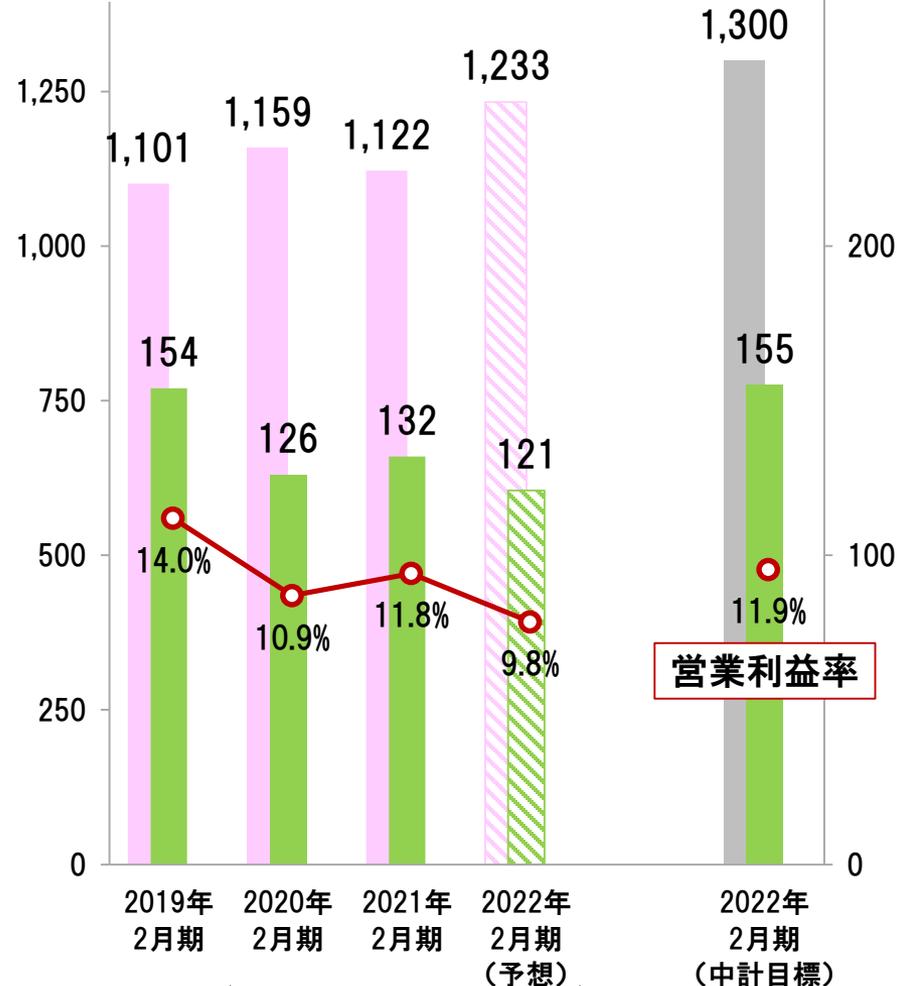
	2022年2月期の連結業績		
	予想 2021/4/9公表	中計目標 2019/4/9公表	増減額
売上高	1,233億円	1,300億円	△67億円
営業利益 └ 営業利益率	121億円 9.8%	155億円 11.9%	△34億円 △1.7pts
海外調達比率	35%	35%	***
米ドル	107.00円	108.00円	△1.00円
英ポンド	148.00円	140.00円	+8.00円
ユーロ	127.00円	122.00円	+5.00円
人民元	16.40円	15.90円	+0.50円

## (2) 重点施策

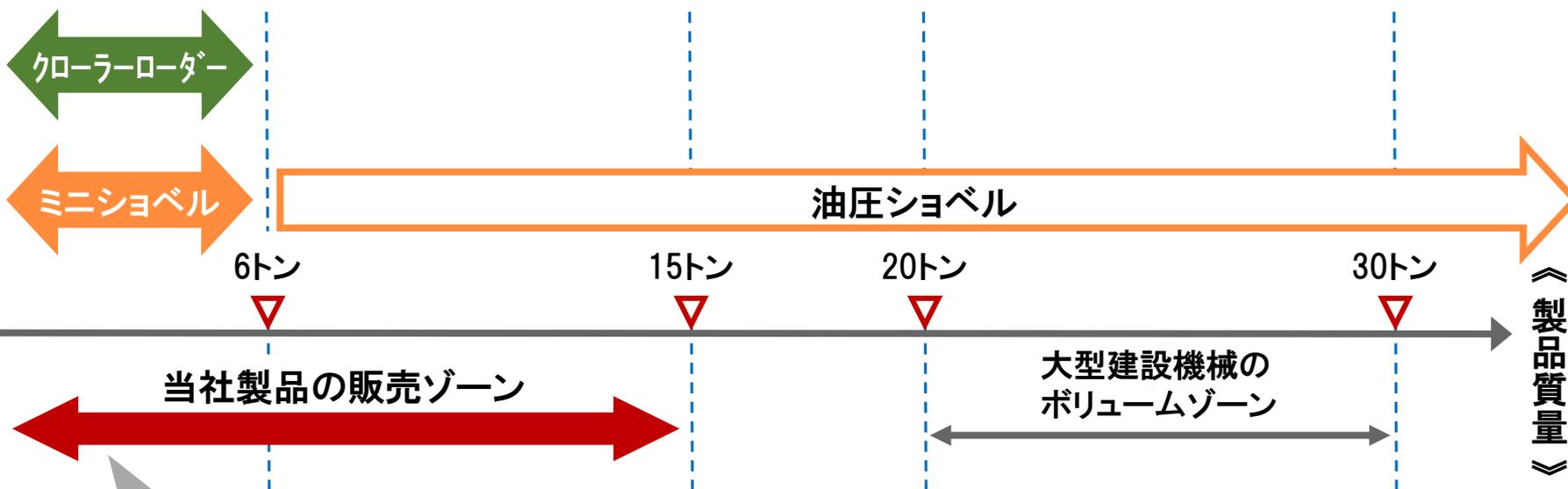
- ① 質的・量的に安定調達できる購買体制の構築
- ② 販売ネットワークの強化
- ③ 開発力の強化
- ④ 生産能力の強化
- ⑤ サステナブル経営の推進

(単位:億円)

■ 売上高 (左軸)  
■ 営業利益 (右軸)



対象となる連結会計年度



## 当社製品の代表的な用途

### 都市型・小規模 土木工事(主に居住区域)

- ✓ 住宅関連 (基礎工事)
- ✓ 交通インフラ (生活道路)
- ✓ ライフライン (水道、下水道、ガス、電気)
- ✓ 建設投資 (工場、商業施設、ホテル)
- ✓ 都市緑化 (造園、植樹、ガーデニング)
- ✓ 災害復旧 (地震、台風、ハリケーン、山火事)
- ✓ その他 (農林業、解体、粉碎)

暮らしを  
支える

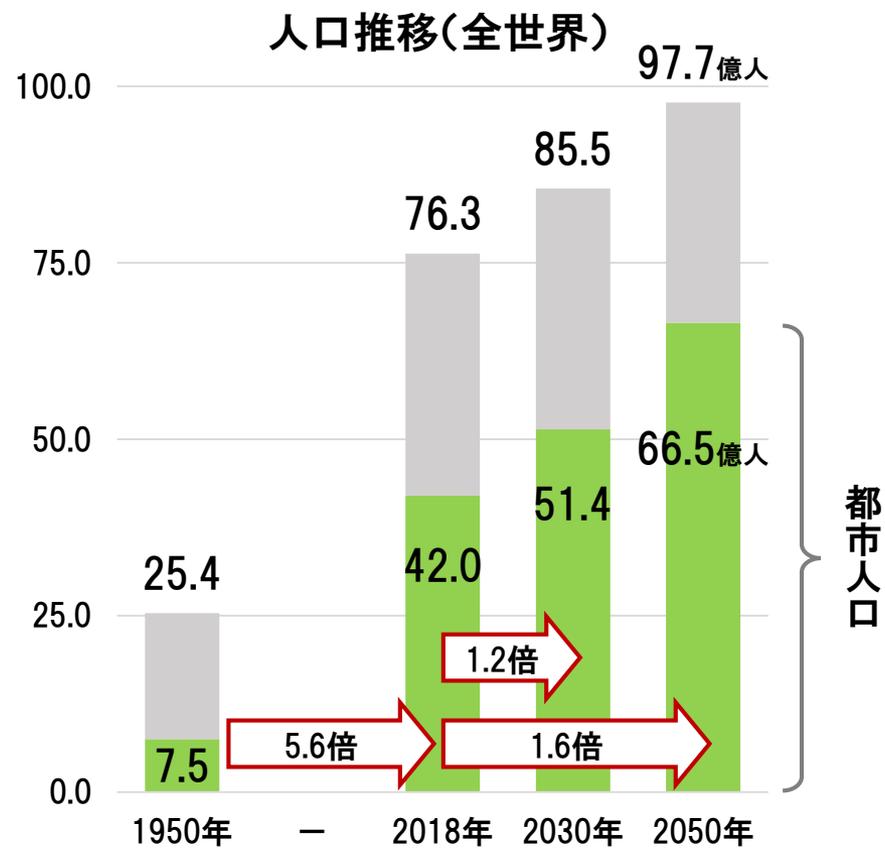
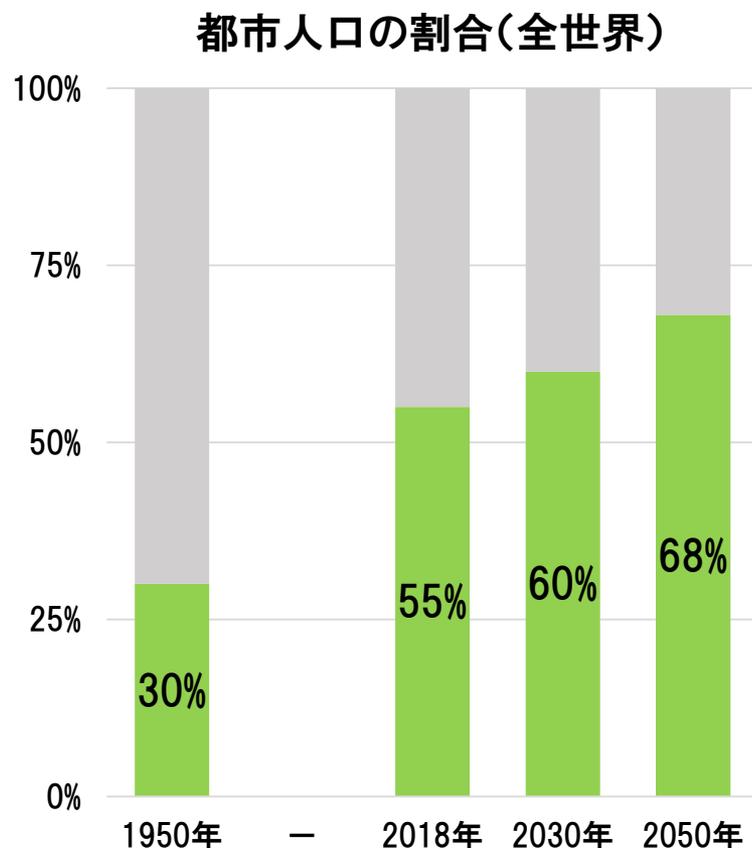
## 【竹内製品の強み】



【独自の付加価値で竹内ファンを創造・拡大】

- 全世界的に都市化が進んでおり、今後も衰える気配はない
- 都市、インフラは必ず老朽化し、メンテナンス工事が不可欠

出所: 2018 Revision of World Urbanization Prospects  
(国際連合・経済社会局、2018/5/16)



## ▶ 製品に対する市場評価が高い

- (1) 子会社、ディストリビューターからの市場情報に基づく製品開発を小回りよく行えている。→ **製品化が速い**
- (2) お客様の細かなニーズを仕様に反映できている。  
**製品リリース後もマイナーチェンジを継続**し、常にベストをお客様に提供している。
- (3) **受注生産**により、お客様ごとの多様なオーダーにきめ細かく対応している。（かゆいところに手が届く）



**独自の付加価値** により、高価でも買って下さる竹内ファンを創造・拡大していく。

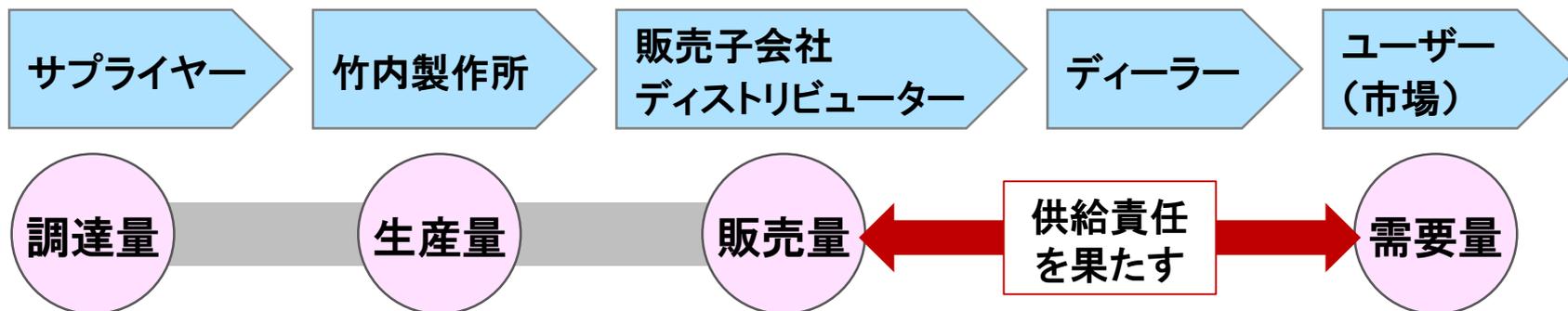
- ✓ パワフル
- ✓ 耐久性
- ✓ 操作性
- ✓ 快適性



### **プラスαの付加価値**

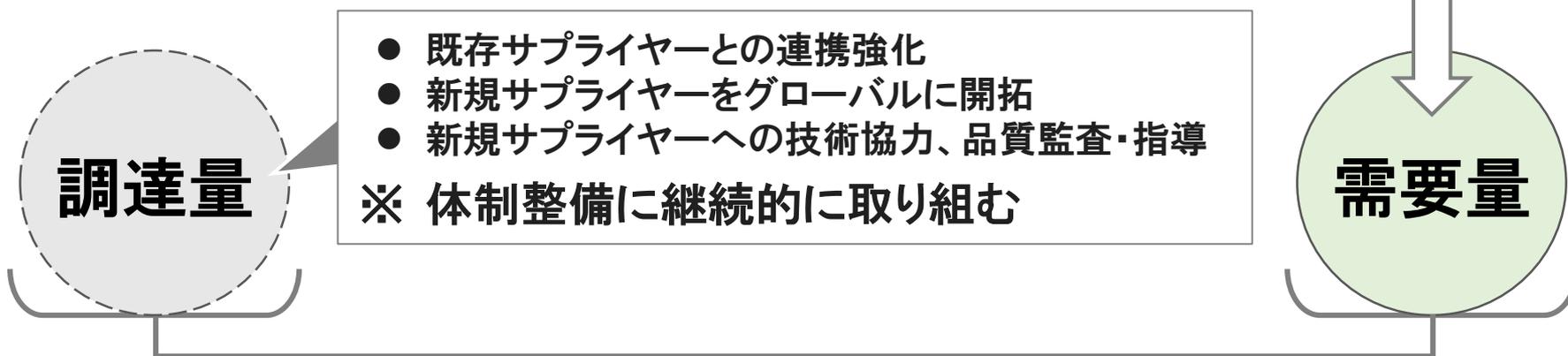
- ✓ 電動化（環境性能の向上）
- ✓ 自動化（人手不足の解消）

▶ 2020年2月期の調達問題(調達が需要に追い付かない)は一定の成果を得た。



▶ 需要は拡大し、生産台数は今後も継続的に増加すると見込む。

現在の **調達規模では不十分、増強が必要**



# 販売ネットワークの強化 (TAKEUCHI US 倉庫拡張)

- ▶ 2020年1月に完成、稼働開始
- ▶ 建築面積 約12万平方フィート (約11,150平方メートル、約3,400坪)
- ▶ 投資額 約500万USD (約5億4,000万円、1USD=108円)



- 保守パーツの在庫を拡充(量、ラインナップ)し、リードタイムを短縮
- 製品本体を拡販していくためにも、倉庫拡大は不可欠 (増設部には本体在庫も収容)

# 販売ネットワークの強化 (TAKEUCHI US トレーニングセンター)

## ▶ 2021年3月に完成、稼働開始

- ▶ 土地面積 約9.45エーカー (約38,000平方メートル、約11,500坪)
- ▶ 建築面積 約3.7万平方フィート (約3,400平方メートル、約1,030坪)
- ▶ 投資額 約490万USD (約5億3,000万円、1USD=108円)

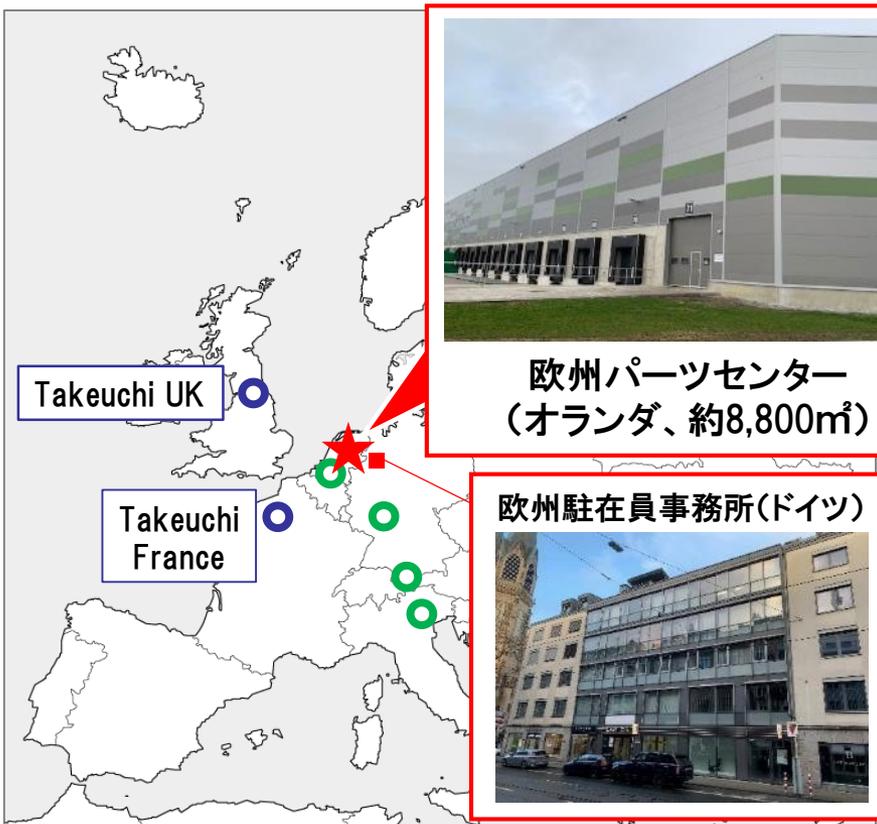


- ▶ ディーラートレーニング (販売・保守)を強化
- ▶ より素早く、より精度の高い保守サービスを提供

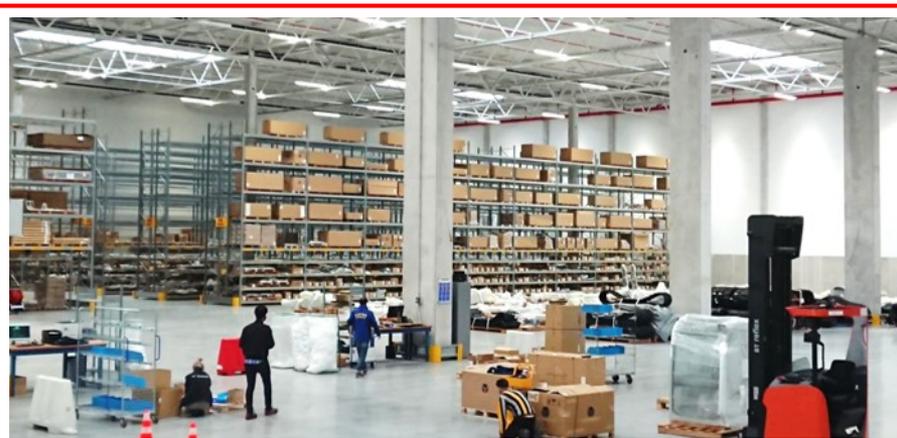


## ▶ 2021年3月より稼働開始

- ▶ 所在地 オランダ王国ヘルダーラント州ネイメーヘン (ドイツ国境近く)
- ▶ 倉庫面積 約8,800平方メートル (約2,650坪)
- ▶ 運営形態 貸し倉庫、入出庫業務を外部委託



欧州パーツセンター  
(オランダ、約8,800㎡)



欧州駐在員事務所(ドイツ)



## 欧州各国へのリードタイムを大幅に短縮

【これまで(日本から)】

通常 1.5ヶ月(船便) → 約3日

緊急 1週間(航空便) → 1~2日

【今後】

- アフタービジネスの拡大
- 顧客満足度の向上
- 新規顧客の獲得 → 製品本体の販売拡大

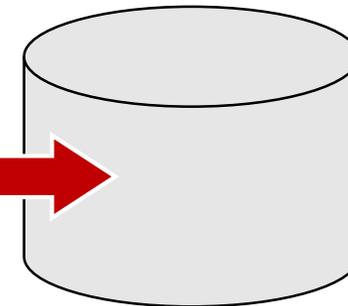
○ 主要ディストリビューター  
(オーストリア、ドイツ、オランダ、イタリアなど)

## ▶ GPS通信機能 (TFM : TAKEUCHI FLEET MANAGEMENT)



- ✓ 稼動状況
- ✓ 位置情報
- ✓ メンテナンス履歴 など

当社グループ、お客様は製品を遠隔監視し、故障時、盗難時に素早く対応可能となった。



今後は、情報をデータベースに蓄積し、新製品開発や顧客サービスの向上に活用していく。

## ▶ アフターサービスサポートシステム (TAKEUCHI CONNECT)



システムの立ち上げが完了し、  
竹内製作所とTAKEUCHI USで稼働開始  
→ 販売子会社、ディストリビューターへの導入を推進する。

- ✓ 製品ユーザー登録
- ✓ 製品マニュアルの閲覧
- ✓ 保守パーツの検索、注文
- ✓ 製品サポートデータベースへのアクセス

- ▶ **2021年内に電池式ミニショベル(2トンクラス)を市場投入**
- ▶ **開発コンセプト** ディーゼルエンジン式ミニショベルと変わらない使い勝手  
(稼働時間、大きさ、パワー、耐久性、操作性、快適性)
- ▶ **需要の見込み**
  - ・ 住宅街、地下、屋内での利用が見込める(ゼロエミッション・静音)
  - ・ 環境志向の強い欧州(特に北欧)でニーズが高い

Bauma 2019  
(2019年4月8日～14日)



Conexpo 2020  
(2020年3月10日～13日)



TB220e (約2トン)

- ✓ 2019年と2020年の展示会で実演披露し、ゼロエミッションと低騒音に加え、ディーゼルエンジン式ミニショベルと変わらぬコンパクトなデザインを実現したとのお評価をお客様からいただきました。
- ✓ 1年以上のモニター期間を経て、「竹内製作所として初の電池式ミニショベルの量産機種」として、満を持して市場投入いたします。

# 製品投入実績

**新製品**

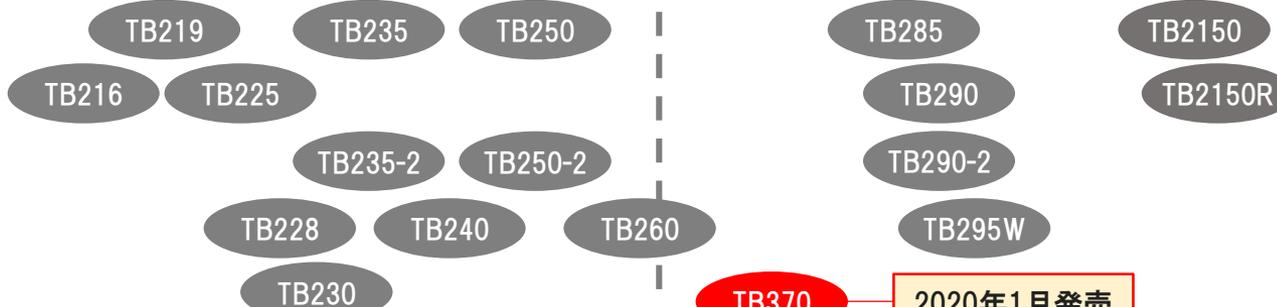
1 2 3 4 5 6 7 8 9 15 (t)

ミニショベル

油圧ショベル

ミニショベル・油圧ショベル

標準機



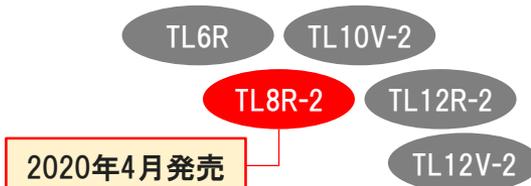
FRシリーズ



後方小旋回機



クローラーローダー



クローラーキャリア



TB325R (2.3トン)

世界共通戦略

## ゴルフ場の造成工事に“必要不可欠な存在”です



- McDonald and Sons 社
- 米国メリーランド州のゴルフ場（ワシントンDC郊外）

### ▶ 主な用途

- ゴルフ場の造成工事  
コース整備やグリーン、バンカーの形成に使用



### ▶ Takeuchiを選ぶ理由

- 耐久性が高く、造りがしっかりしている
  - 操作感が良く、精度の高い操作が簡単にできる
  - 市場価値、下取り価格が高い
- 
- 20年以上にわたり、当社製品をご愛用
  - 約100台の当社製品を所有

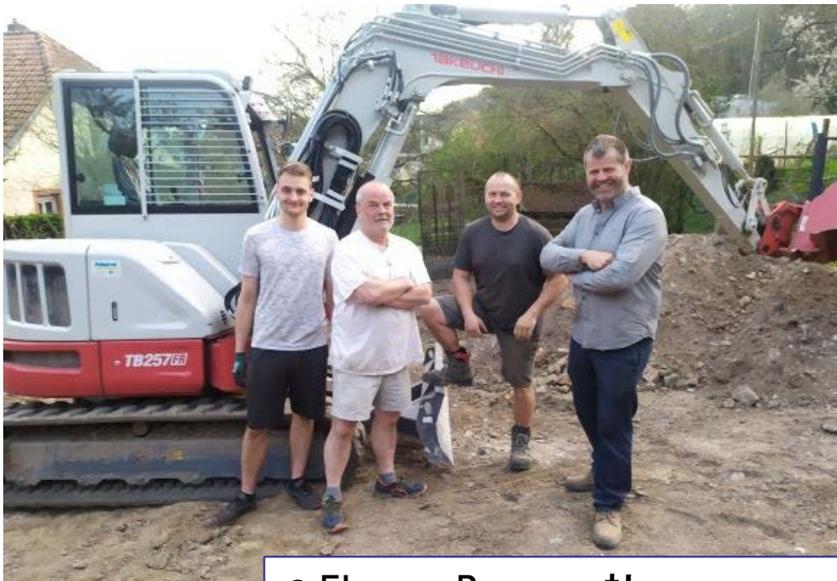


### ▶▶ TL8R-2

- ✓ 製品種別 クローラーローダー（4トン）
- ✓ 販売開始 2020年4月
- ✓ 主な特長
  - ・ 自動変速機能（1速と2速を自動的に変速）
  - ・ クリープ走行機能（一定速度を維持して低速走行が可能）

クローラーローダー  
としては世界初の機能  
（当社調べ）

## FRシリーズは狭く、限られたスペースで仕事をする私たちにはピッタリ



- Elagage Paysage 社
- フランス北東部の土木・造園会社 (ドイツ、スイスとの国境ちかく)



### ▶ 主な用途

- 住宅工事、造園ほか (掘削、地ならし、植樹等)

### ▶ Takeuchiを選ぶ理由

- FRシリーズは前も後ろもゼロ半径で旋回できる小回りの良さが魅力で、パワーも十分
  - グラップル(物を掴むアタッチメント)での作業はまるで自分の手を使っているような操作感
  - 故障などトラブルの際のアフターサポートの良さ
- 
- 25年以上にわたり当社製品をご愛用
  - TB257FRの前身機種TB153FRを3台所有
  - 最高の品質を絶対に守り続けて欲しい

### ▶▶ TB257FR

- ✓ 製品種別 ミニショベル(5.8トン)
- ✓ 販売開始 2020年8月
- ✓ 主な特長 クローラー幅のほぼ範囲内で、上部体が360度旋回できる構造が特長で、都市部の密集地・狭小地で重宝されています。

# 生産能力の強化（長野県青木村に工場用地の取得を計画）

## 【工場用地の概要】

- ▶ 所在地 長野県青木村 当郷地区
- ▶ 面積 約5万平方メートル（約15,000坪）
- ▶ 取得時期 2021年内（予定）
- ▶ 取得価額 8億円（推定）

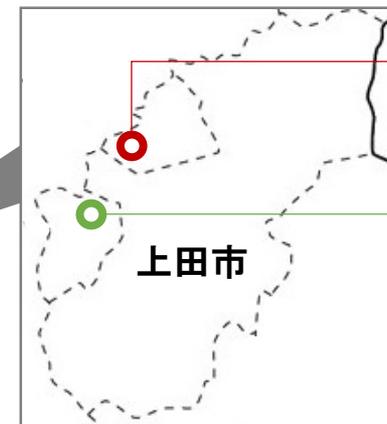
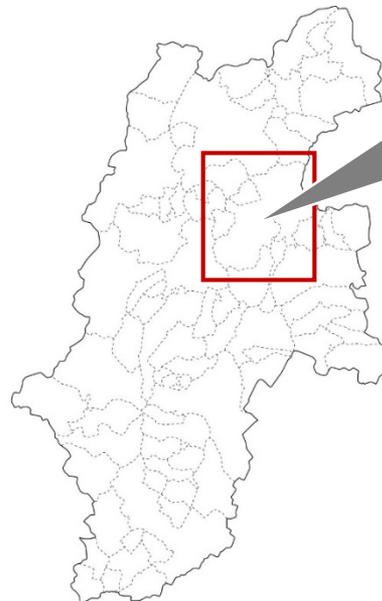
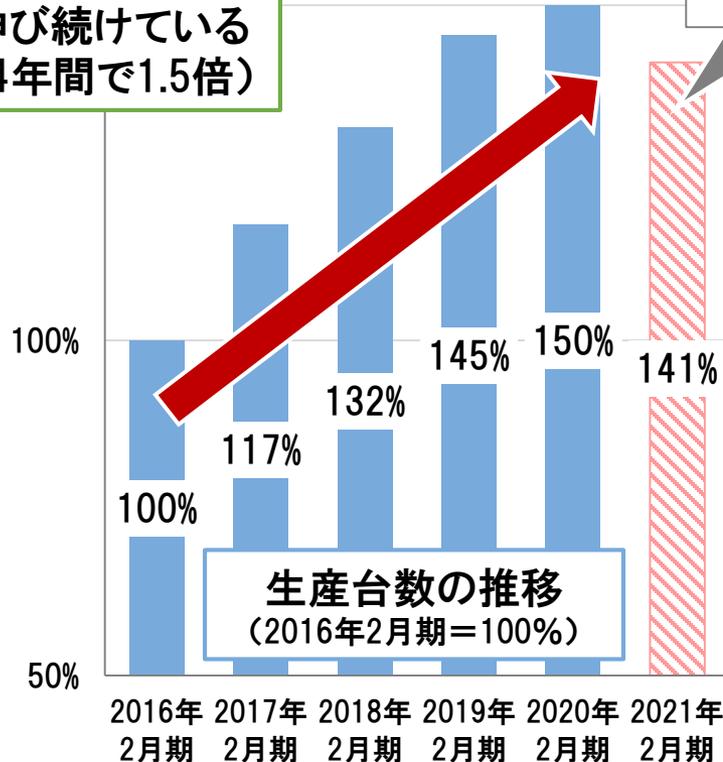
現有の本社工場と同等の土地面積

## 【新工場建設プロジェクトを始動】

- ▶ どの機種を造るのか？
  - ▶ 工場の規模は？仕様は？
  - ▶ 生産設備は？
  - ▶ 設備投資額は？
- 等を具体的に検討・計画中。  
市場や製品需要の動向を見極めて今後ジャッジ（着工時期を含む）

生産台数は伸び続けている（4年間で1.5倍）

2021年2月期は△6%の減産（前期比）



本社工場  
(坂城町)

新工場用地  
(青木村)

自動車約30分(16km)

## ▶ SDGsの達成に向けて

社長、取締役、部長、課長、実務担当者で構成

部門を横断したプロジェクトチームを立ち上げ、当社の事業活動の実態把握と分析、今後取り組むべき活動テーマの策定について、議論と検討を重ねました。

【2021年2月】

全23項目

当社として、現在または中長期で取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定。外部有識者の意見を取り入れつつ、ステークホルダー視点と経営視点の2軸で特定。

## ▶ 主なマテリアリティ

当社のマテリアリティ番号

	カテゴリー	取り組みテーマ		SDGs
E	気候変動	GHGの排出削減 ① 製品からのGHG ② 工場からのGHG	#01, #05 #02, #03	
S	持続可能な街づくり	街づくり、インフラ整備に不可欠な建機提供 (当社グループの事業そのもの)	#9	
	人権尊重 適正な労働慣行	健康経営、安全衛生 ワークライフバランス 強制労働、児童労働の撲滅(サプライヤー)	#13 #15 #18, #19	
G	ダイバーシティ	女性活躍推進(女性取締役、管理職)	#16	
+1	全社展開	教育・研修	#14	

## ▶ サステナビリティサイトのご紹介

<https://www.takeuchi-mfg.co.jp/sustainability/>

Sustainability

サステナビリティ



竹内製作所は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

竹内製作所は、SDGsを念頭に、地球に優しく豊かな社会の実現に貢献したいと考えています。経済的、社会的、環境的な価値創造に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

中でも、11番目の目標「住み続けられるまちづくりを」は、当社グループの事業領域そのものです。雇用や豊かさをもたらす都市文明を持続可能なものとするためには、地球環境に負担をかけ過ぎることなく、人口過密や住宅不足、インフラ老朽化を解消するとともに、公衆衛生を向上させる必要があります。より安全で、より効率的で、よりクリーンな建設機械の開発、製造、販売、アフターサービスを通じて、広く社会に貢献してまいります。

当サイトを通じて、

- ✓ 持続可能な社会の実現
- ✓ 当社グループの事業発展

の両立に向けて、**積極的に情報発信**してまいります。

サステナビリティ  
コミットメント

重要課題  
(マテリアリティ)

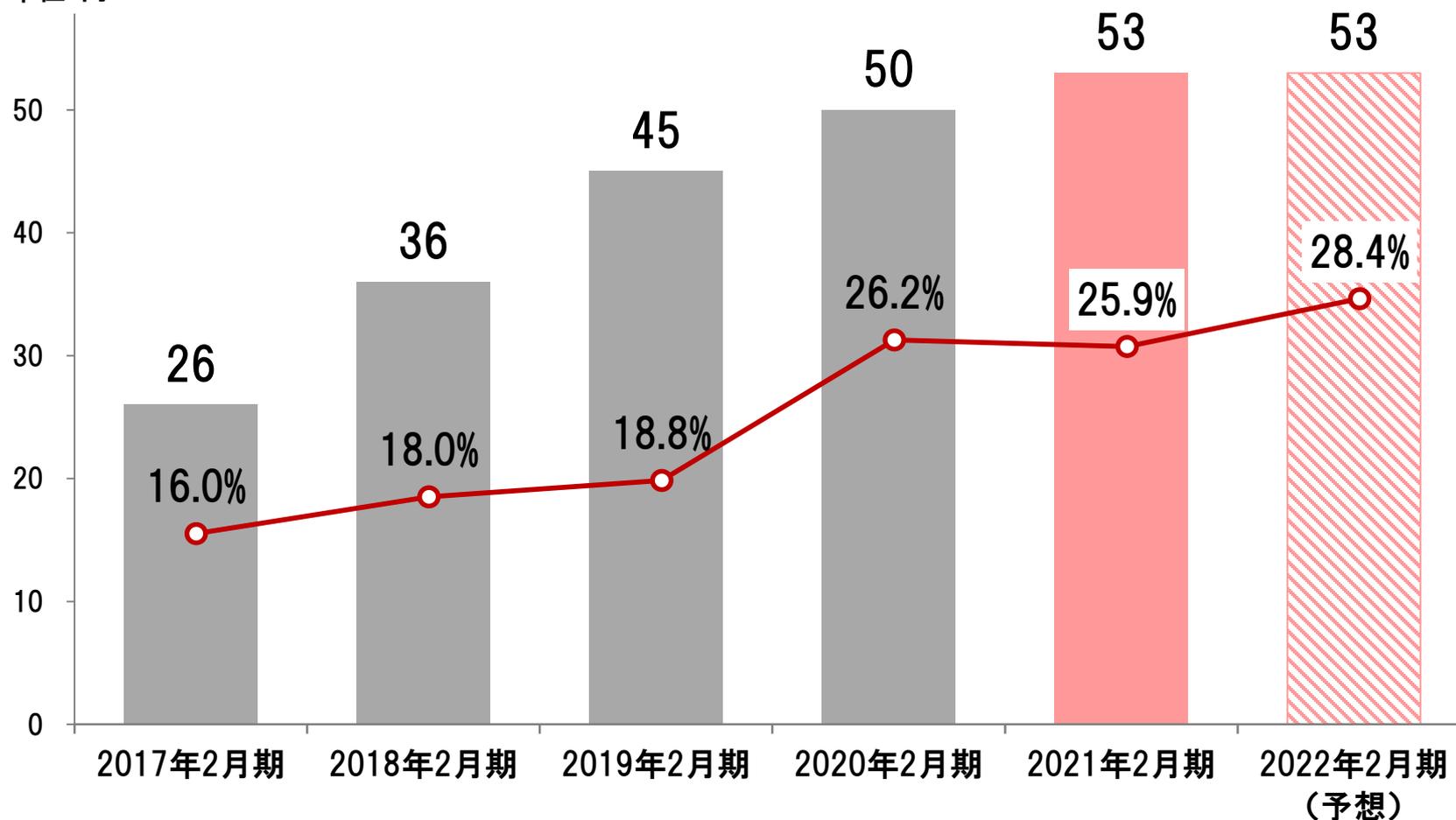
TAKEUCHIが  
ひらく未来  
～SDGsへの貢献～



配当方針：経営体質の強化並びに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。

## 1株当たり配当金、連結配当性向の推移

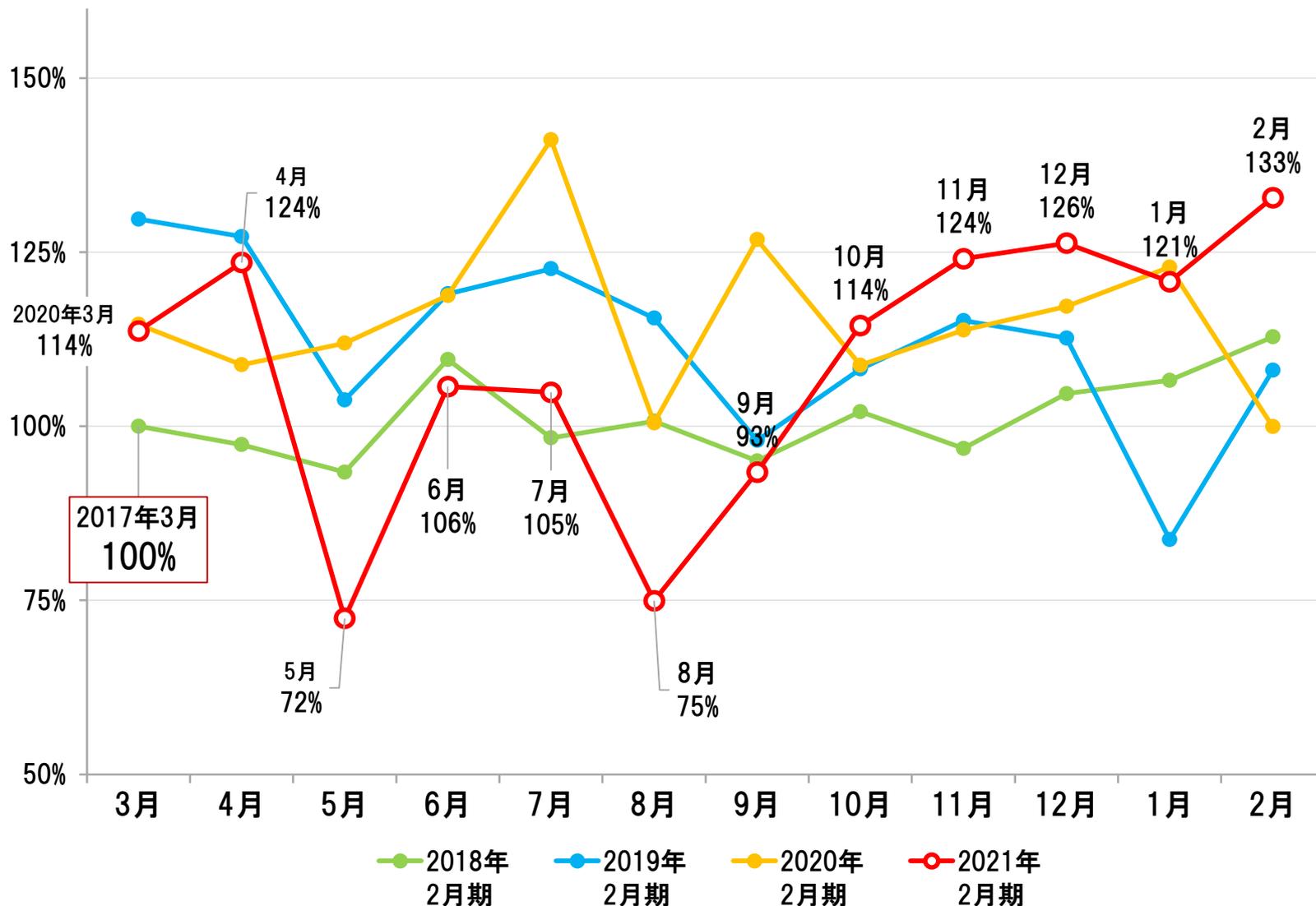
単位：円

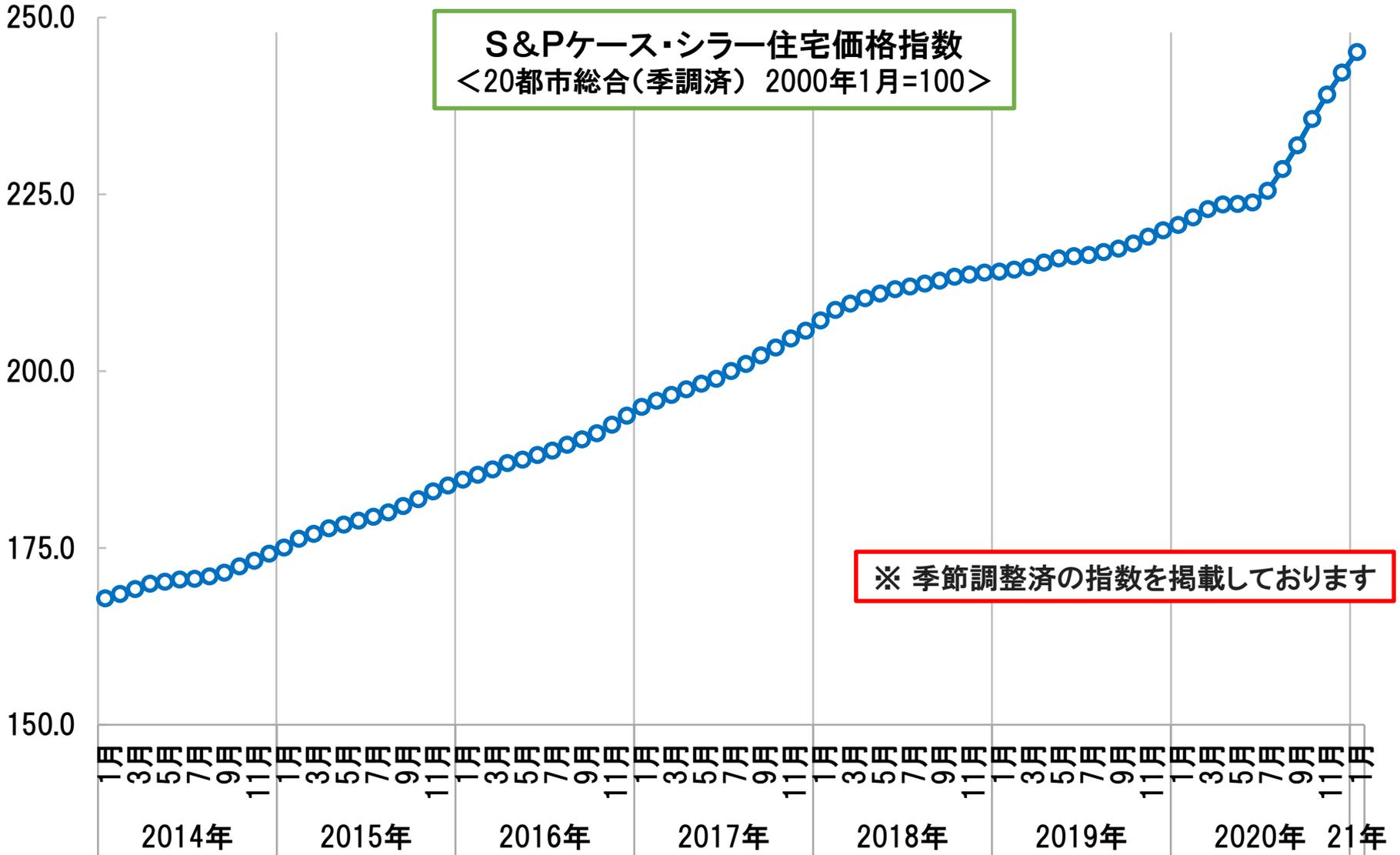


- ▶ 2021年2月期・連結業績 実績
- ▶ 2022年2月期・連結業績 予想
- ▶ 第二次中期経営計画の進捗状況
- ▶ **ご参考資料**

# 月別生産台数の推移

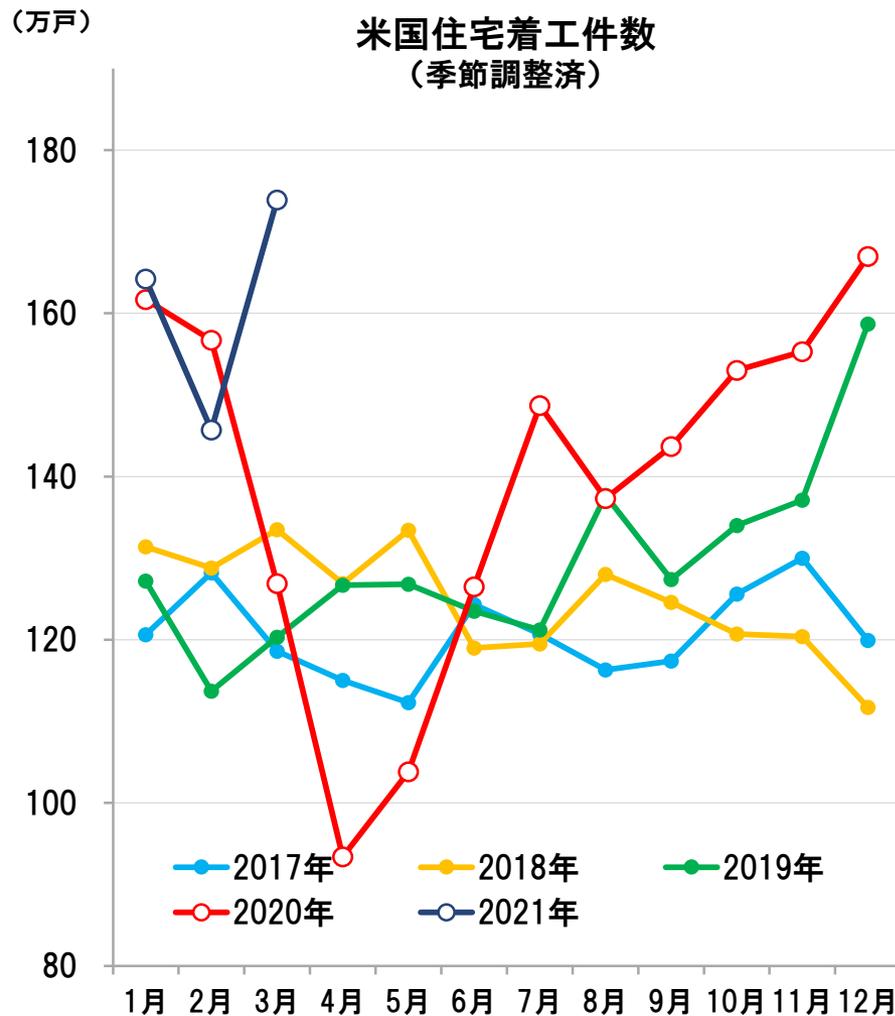
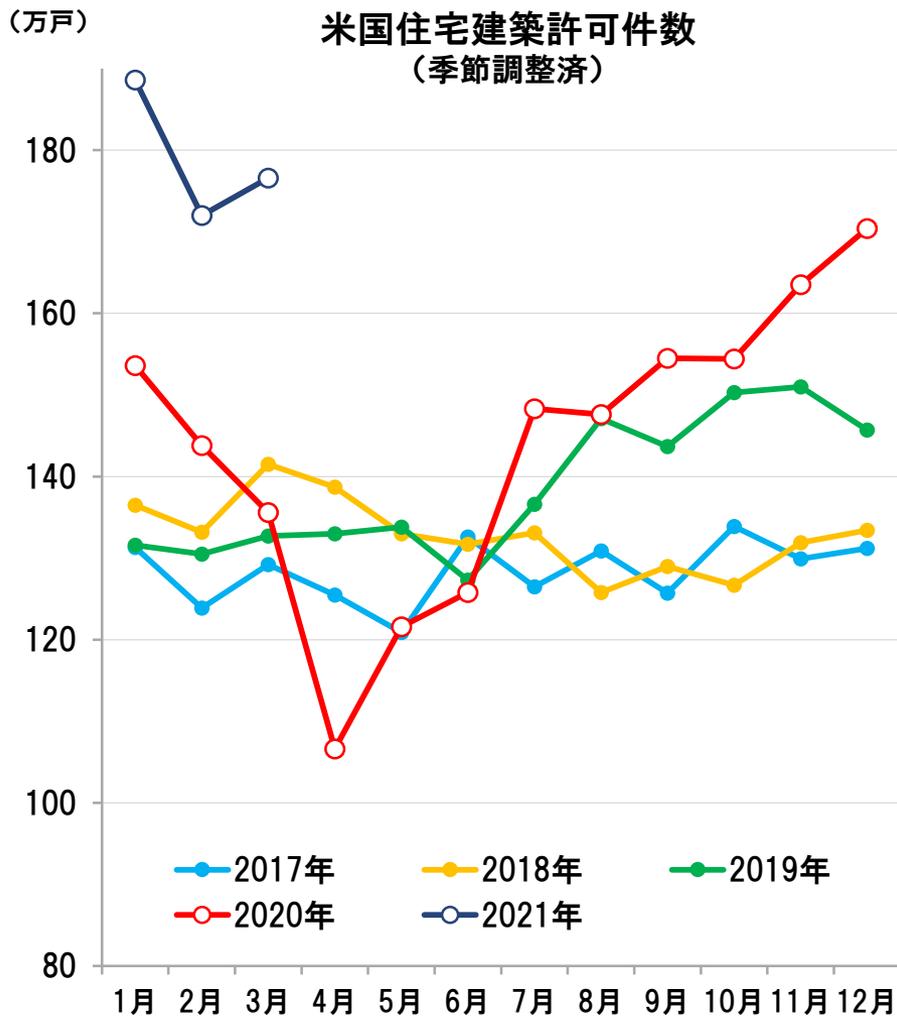
2017年3月 = 100%





(出所) S&P

➤ コロナ禍により、2020年2月～4月は急激に冷え込んだが、経済活動の再開とともにV字回復を果たした。今後も底堅いと予測。



会社名	株式会社竹内製作所	
英文社名	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	
代表者	代表取締役社長 竹内敏也	
本社所在地	長野県埴科郡坂城町上平205番地	
設立	1963年8月21日	
決算期	2月末	
資本金	3,632百万円 (2021年2月28日現在)	
売上高(連結)	112,254百万円 (2021年2月期)	
従業員数(連結)	906名 (2021年2月28日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 6432)	
子会社	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD. (設立 1979年2月)
	英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD. (設立 1996年10月)
	仏国	TAKEUCHI FRANCE S.A.S. (設立 2000年6月)
	中国	竹内工程機械(青島)有限公司 (設立 2005年4月)

## ＜主力製品＞

### ミニショベル・油圧ショベル

- ✓ 当社が世界初のミニショベルを開発(1971年)
- ✓ ミニショベル  
製品質量が6トン未満のもの
- ✓ 油圧ショベル  
製品質量が6トン以上のもの

#### 主な用途

- ✓ 住宅建設の基礎工事
- ✓ 水道管、ガス管等の配管工事
- ✓ 公園や庭に木を植える造園工事
- ✓ 老朽化した建物の解体・修復工事



### クローラーローダー

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発(1986年)
- ✓ ミニ/油圧ショベルより移動速度が速く、運搬作業に向く
- ✓ ほとんどが北米需要、北米販売

#### 主な用途

- ✓ ミニショベルで掘削した土砂の運搬
- ✓ 地面の掘削、整地
- ✓ アーム先端のバケット部を交換することで様々な作業が可能



# 業績推移

単位:百万円	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期(予想)	
	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	前年増減額
日本	2,093	2,427	940	813	2,508	2,960	+451
北米	39,657	45,360	50,696	53,222	52,248	57,250	+5,001
欧州	37,988	43,467	55,561	60,313	54,988	60,010	+5,021
アジア	760	864	1,000	384	181	290	+108
その他	2,501	2,222	1,977	1,179	2,327	2,790	+462
売上高	83,000	94,342	110,175	115,913	112,254	123,300	+11,045
営業利益	13,404	14,133	15,411	12,649	13,207	12,100	△1,107
経常利益	11,722	14,033	15,496	12,403	13,298	12,200	△1,098
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,757	9,547	11,391	9,091	9,765	8,900	△865
1株純利益	162.07円	200.20円	238.83円	190.64円	204.78円	186.64円	△18.14円
1株配当金	26.00円	36.00円	45.00円	50.00円	53.00円	53.00円	±0円
円/米ドル	108.30円	111.58円	110.06円	109.21円	106.13円	107.00円	+0.87円
円/英ポンド	145.32円	146.80円	145.91円	139.49円	137.88円	148.00円	+10.12円
円/ユーロ ※1	119.55円	128.67円	129.16円	121.46円	122.91円	127.00円	+4.09円
円/人民元	16.40円	16.63円	16.64円	15.82円	15.41円	16.40円	+0.99円
純資産	60,080	68,106	77,180	83,683	89,908		
総資産	82,643	91,422	103,557	108,982	115,525		
自己資本比率	72.7%	74.5%	74.5%	76.8%	77.8%		
ROE ※2	13.5%	14.9%	15.7%	11.3%	11.3%		
ROA ※3	14.7%	16.1%	15.9%	11.7%	11.8%		

※1 為替レートは、12ヶ月間の平均レートを表示

※2 ROE(自己資本当期純利益率) = 当期純利益 ÷ 純資産 × 100 (純資産は期首・期末の平均値)

※3 ROA(総資産経常利益率) = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 (総資産は " )

お問い合わせ先

# 株式会社竹内製作所

経営管理部 経営企画課

TEL : 0268-81-1200

FAX : 0268-81-1127

E-mail : [ir@takeuchi-mfg.com](mailto:ir@takeuchi-mfg.com)

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。